



2025年12月期 第2四半期 決算説明会

2025年8月22日
岡部株式会社

本日のアジェンダ

- Topics 中期経営計画「OX-2026」の進捗について
- 2025年12月期第2四半期 連結業績概況と今期の見通し
- 株主還元
- 投資計画



中期経営計画 「OX-2026」の 進捗について

- ◆ OCM新倉庫拡張
- ◆ セレクトベース リニューアル
- ◆ レインフォースフレーム工法
- ◆ 型枠一本締め工法

BUSINESS

建設関連製品
事業

多角化
事業

STRATEGY

人的資本経営の実践
経営基盤の強化

カスタマー・
セントリック

DXの
更なる推進

VISION

これまでも、そしてこれからも

建設を支える耐震建材メーカーとして培った

「創造力」×「つなぐ力」×「人の力」で

世界中の人々の生活に安全・安心を提供する

グローバル・ソリューションプロバイダー

重点的に取り組むSDGs

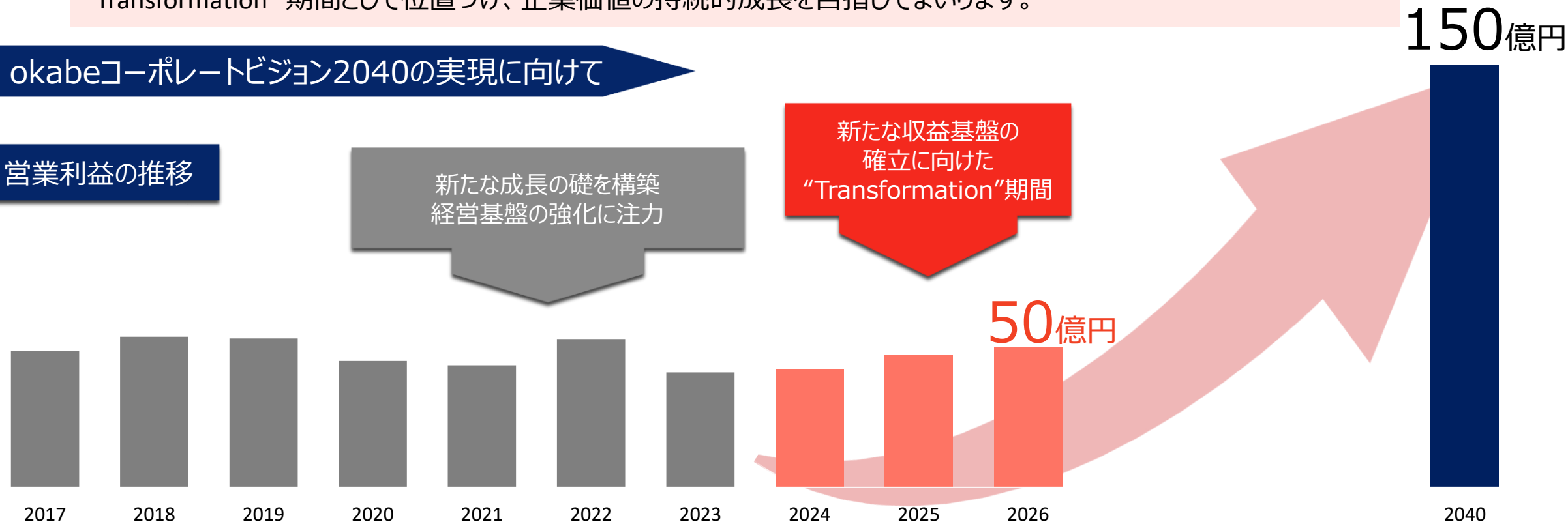


OX-2026の位置づけ

外部環境の変化に機敏に対応しながら、利益水準を維持するとともに、3年間で新たな収益基盤の確立に向けた“Transformation”期間として位置づけ、企業価値の持続的成長を目指してまいります。

okabeコーポレートビジョン2040の実現に向けて

営業利益の推移



NEXT100
～Exciting Future～

NEXT100 – PHASE2

NEXT100 – PHASE2.1

OX-2026

okabeコーポレートビジョン2040

OCMグループ 売上高推移

M USD

創業30周年 米国No.1
コンクリートアクセサリ・メーカー

主な取扱製商品



2025年
新倉庫拡張

2024年
新工場稼働

2021年
製造子会社設立

2018年
シカゴに新倉庫

2002年
OCM設立

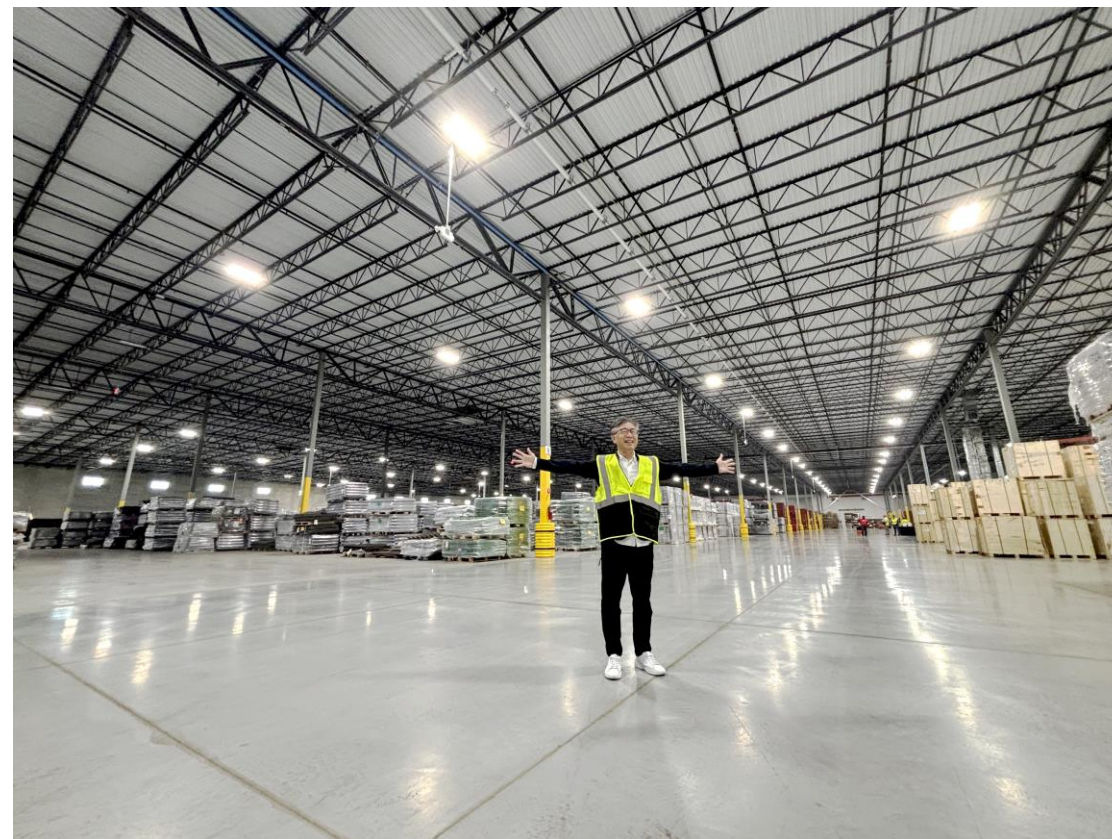
2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032

予想 目標

OCMグループ 新工場・新倉庫拡張



OCMM新工場棟 2024年7月完成

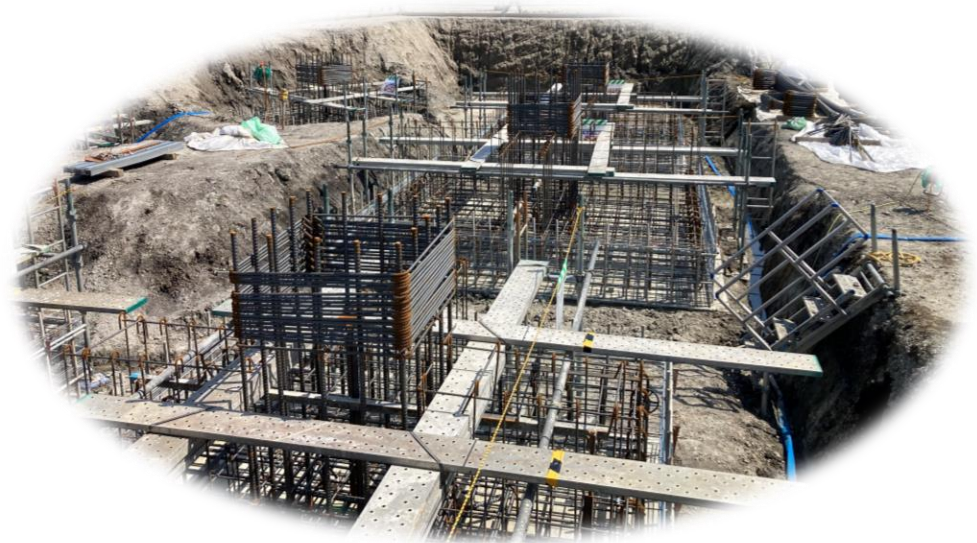


OCM新倉庫拡張 2025年5月完成

北米市場での供給能力と顧客サービスを向上させ、さらなる事業拡大を目指す

セレクトベースのリニューアル・採用拡大中

実績**35年**以上のBPの技術を活かし誕生。“もっと**セレクト**”できる製品に**性能アップ**

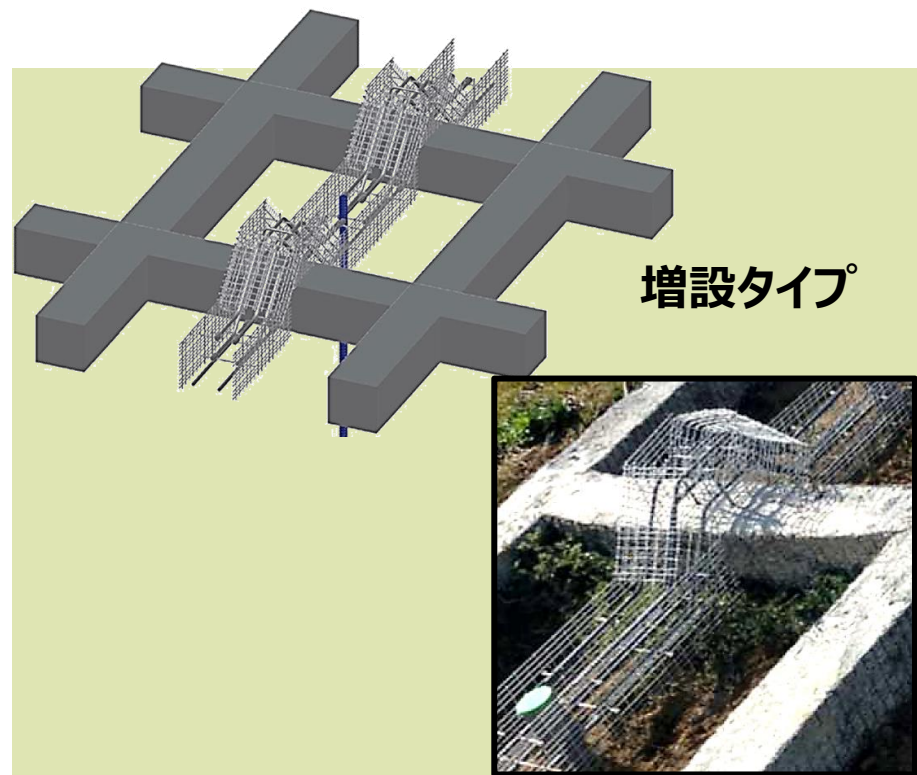
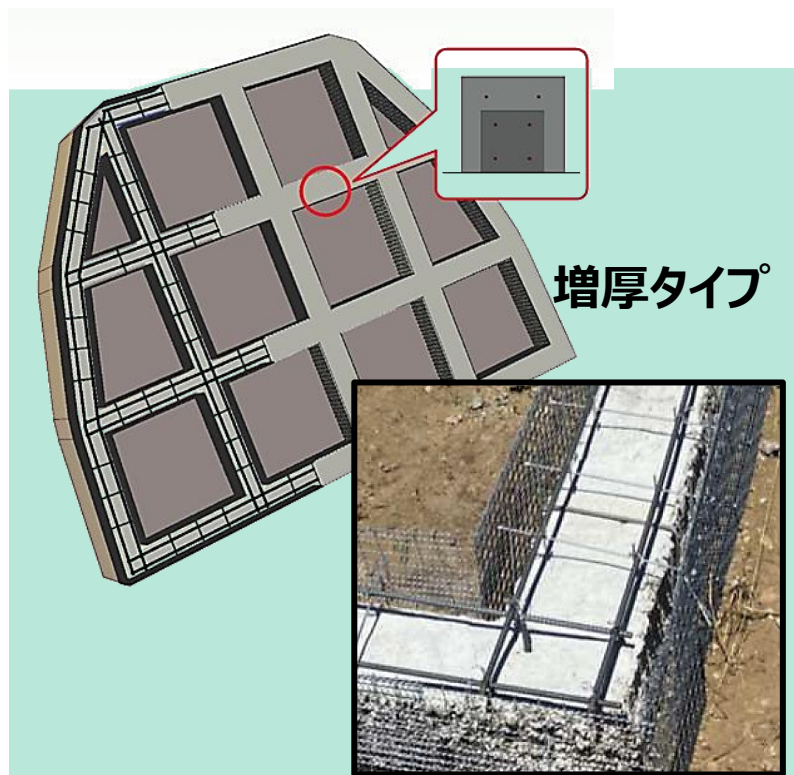


リニューアルタイプ上市後、わずか**3ヵ月**で**9億円超**の引き合いあり

今後も**市場ニーズ**に応じた**製品開発**を推進 **2026年度** 約**15億円**の売上高を目指す

メンテナンス事業 レインフォースフレーム工法

地山の**風化**や**浸食**による崩れを防止するための**メンテナンス事業を開始**



ガイドライン



地山変状への早期対応と効率的な維持管理を包括的にサポートしていく

型枠分野 型枠一本締め工法

“軽い・簡単・早い” 適用現場は拡大し、さまざまな分野で賞を受賞



発売開始から1年で
24現場、15万㎡ の適用実績
5年間で累計売上高20億円を目指す



第54回日本産業技術大賞
審査委員会特別賞

日本コンクリート工学会賞 技術賞

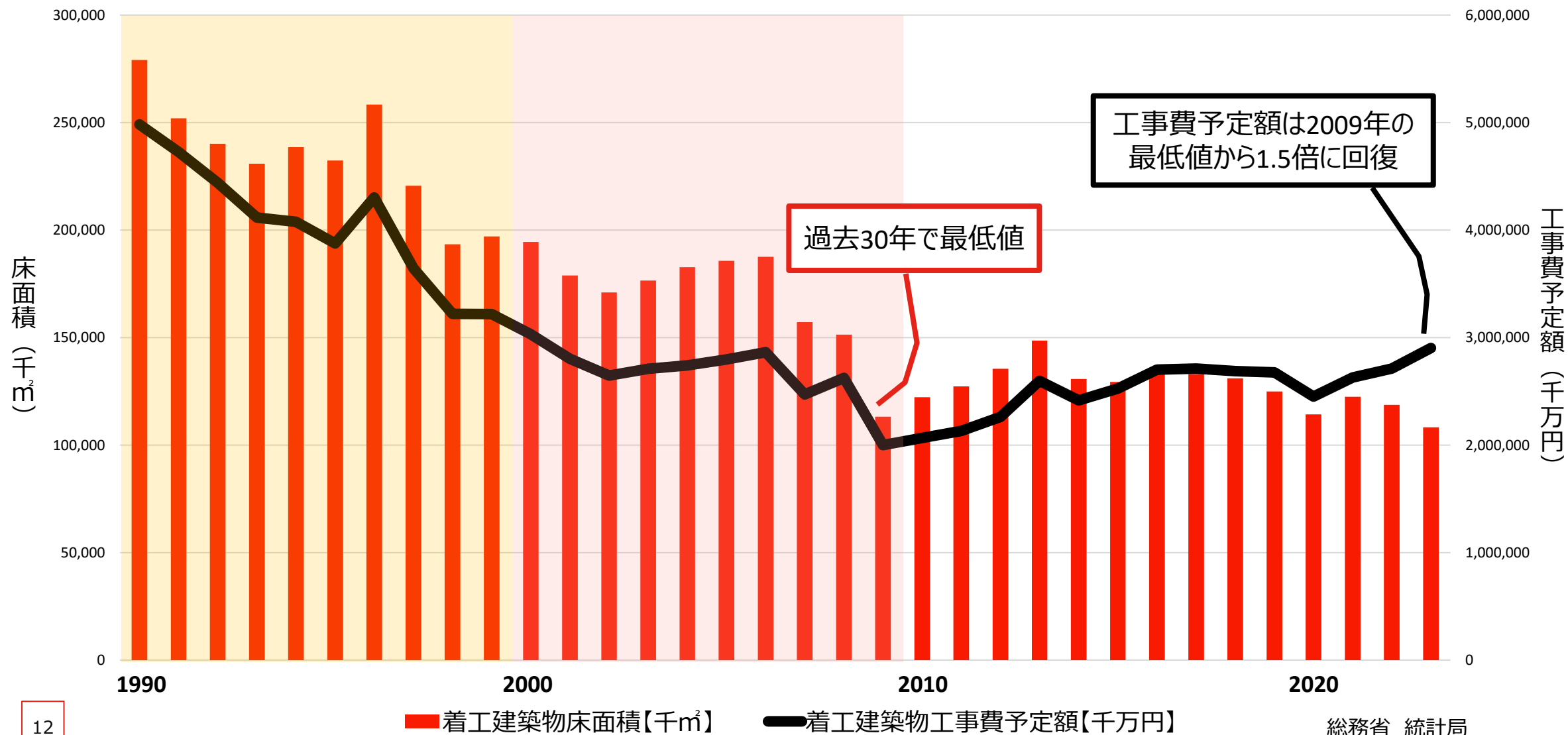
日本アルミニウム協会賞 開発賞



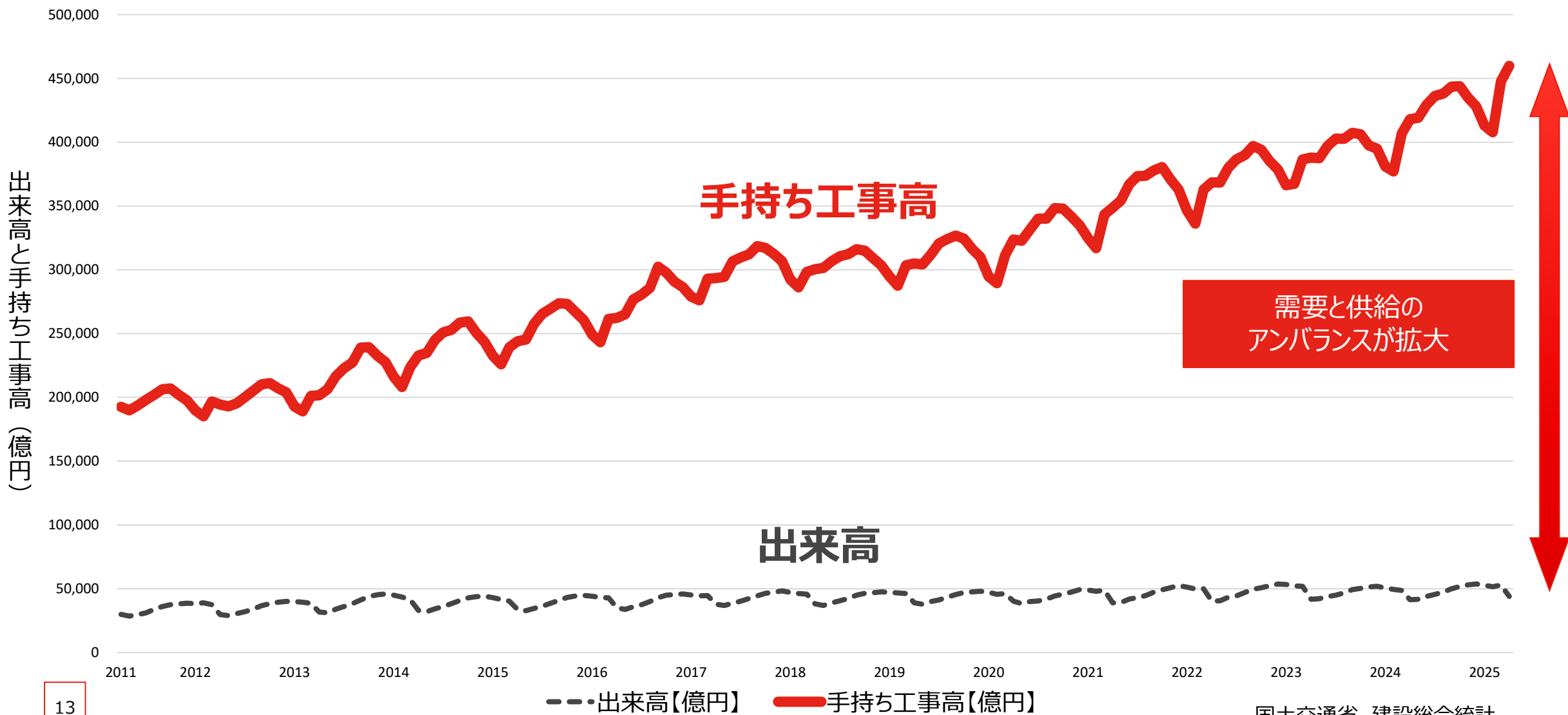
2025年12月期 第2四半期

連結業績概況と 今期の見通し

着工建築物 床面積・工事費予定額 推移



建設業の出来高と手持ち工事高 推移



第2四半期 業績概要（サマリー）

建設関連製品事業

仮設・型枠
建材(国内)



「**型枠一本締め工法**」などの省力化製品の拡販、レンタルサービスを開始したものの、鉄筋コンクリート造物件の着工床面積は停滞傾向が継続し、受注減少

土木



政府の国土強靱化政策を背景とした**土砂災害防止関連製品**の需要取込みに注力

構造機材



鉄骨造物件の着工床面積は減少傾向だったものの、鉄骨造向け柱脚製品「**セレクトベース**」改良版の販売開始、大型物件の需要獲得、中小物件向け営業強化が寄与

建材(海外)



米国における**インフラ関連の建設需要**の取込みに成功

産業機械



顧客ニーズに応じた特注品などの**高付加価値製品の拡販**に注力

海洋資材



大型浮魚礁製品の受注などに成功

自動車



トラック・トレーラー市場が不安定な状況ながら、**主要顧客への営業強化**による安定的な受注確保に成功

多角化

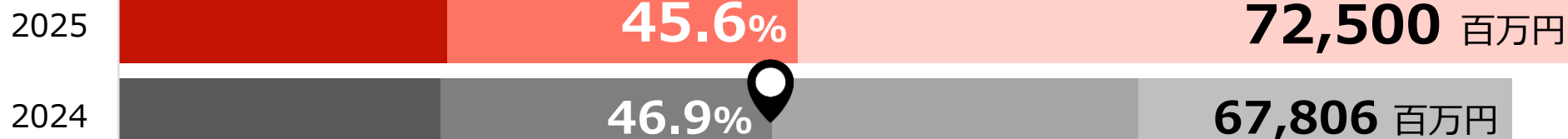
連結業績概況 前年同期比

(単位：百万円)

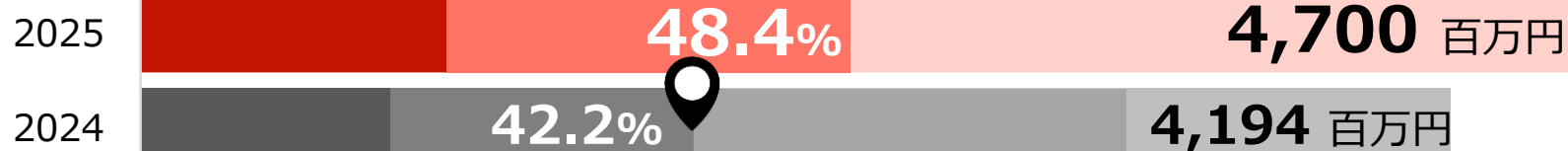
	2024 2Q実績	2025 2Q実績	増減額	増減率
売上高	31,813	33,069	1,255	3.9%
営業利益	1,770	2,273	502	28.4%
営業利益率	5.6%	6.9%	1.3Pt	—
経常利益	1,934	2,443	509	26.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,339	1,752	412	30.8%

連結業績予想に対する進捗状況

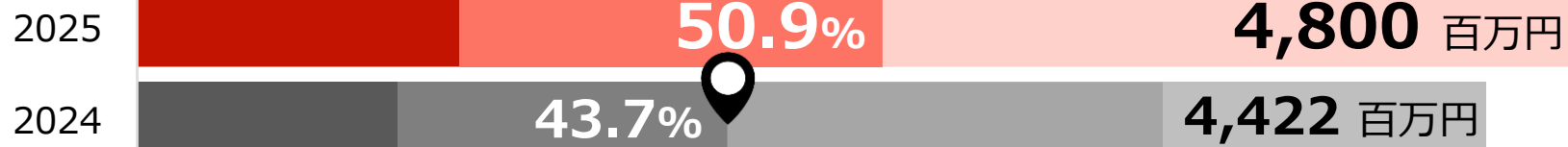
売上高



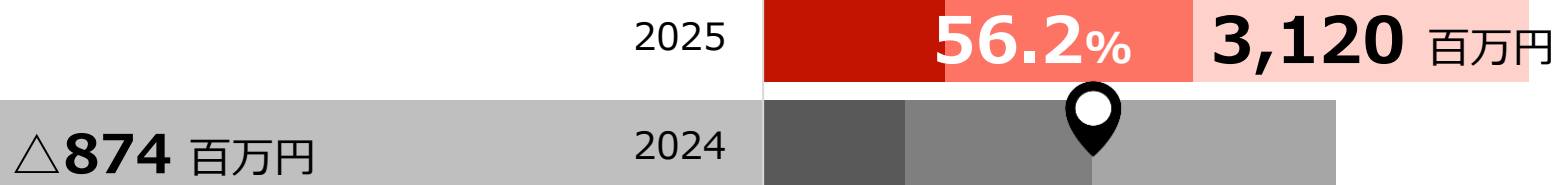
営業利益



経常利益



当期純利益



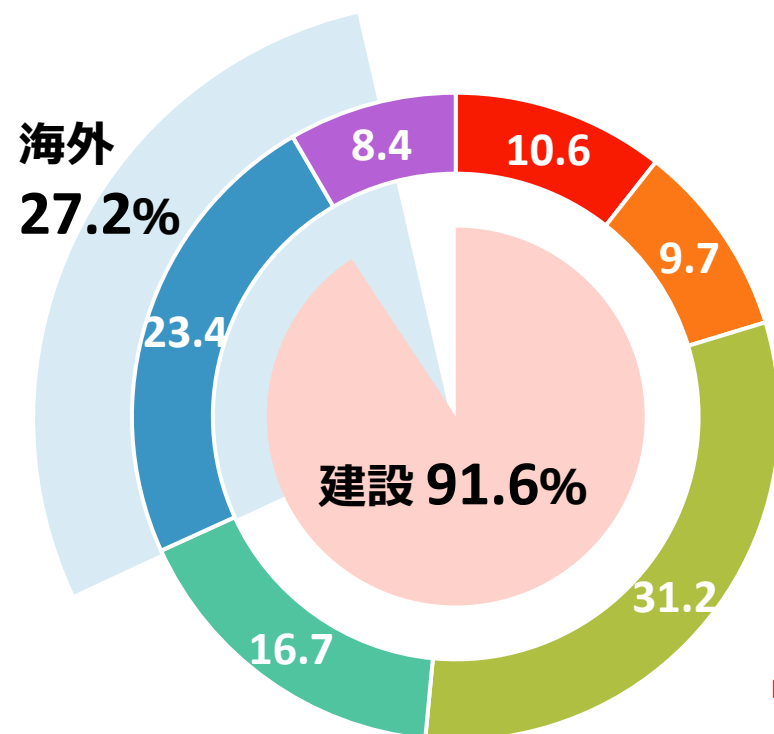
セグメント別・製品別 業績概況

(単位：百万円)

		売上高			営業利益		
		2024 2Q実績	2025 2Q実績	増減率	2024 2Q実績	2025 2Q実績	増減率
建設関連製品事業	仮設・型枠製品	3,376	3,218	△4.7%			
	土木製商品	3,076	3,439	11.8%			
	構造機材製商品	9,928	10,284	3.6%			
	建材商品	5,310	4,930	△7.2%			
	建材製商品（海外）	7,446	8,095	8.7%			
当事業計		29,137	29,967	2.9%	1,552	1,839	18.5%
多角化事業		2,675	3,101	15.9%	218	433	98.6%
合計		31,813	33,069	3.9%	1,770	2,273	28.4%

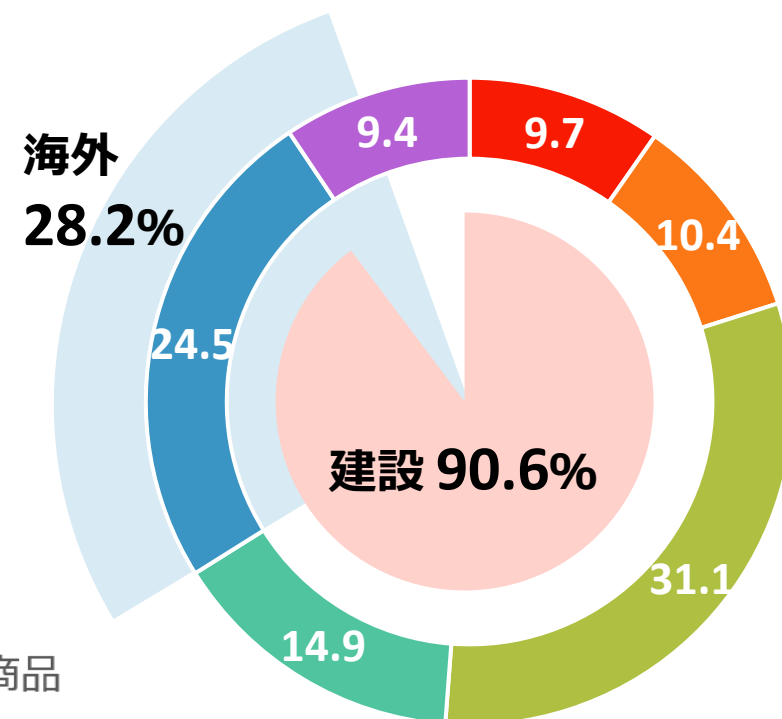
セグメント別・製品別 売上構成比の推移

2024年12月期 2Q



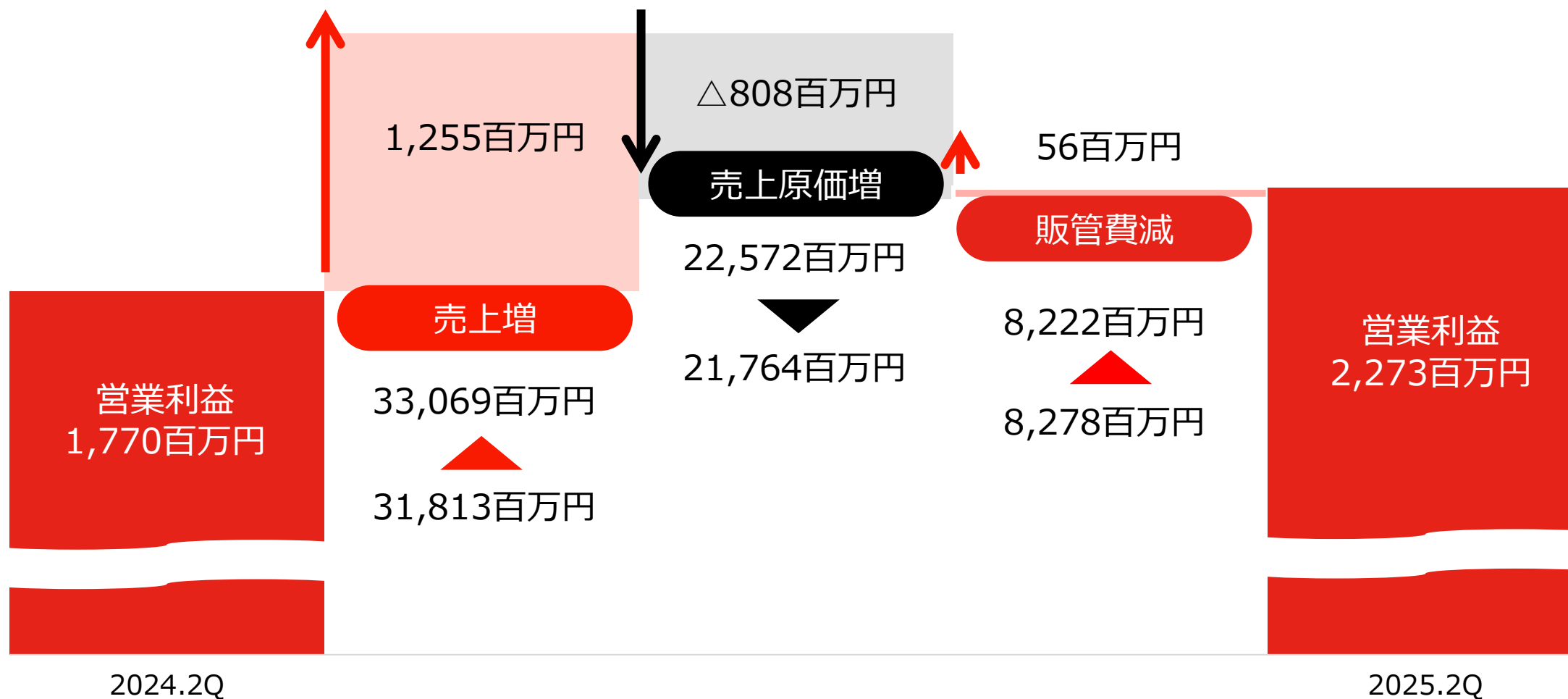
- 仮設・型枠製品
- 構造機材製商品
- 建材製商品(海外)

2025年12月期 2Q



- 土木製商品
- 建材商品
- 多角化事業

営業利益の増減要因



為替影響額 前期対比

	2025年度2Q		2025年度予想	
売上高影響額	+ 255百万円		+ 571百万円	
営業利益影響額	+ 10百万円		+ 23百万円	
円／米ドル	147.25円	151.52円	149.44円	154.00円
	2024年度2Q	4円27銭の円安	2024年度実績	4円56銭の円安

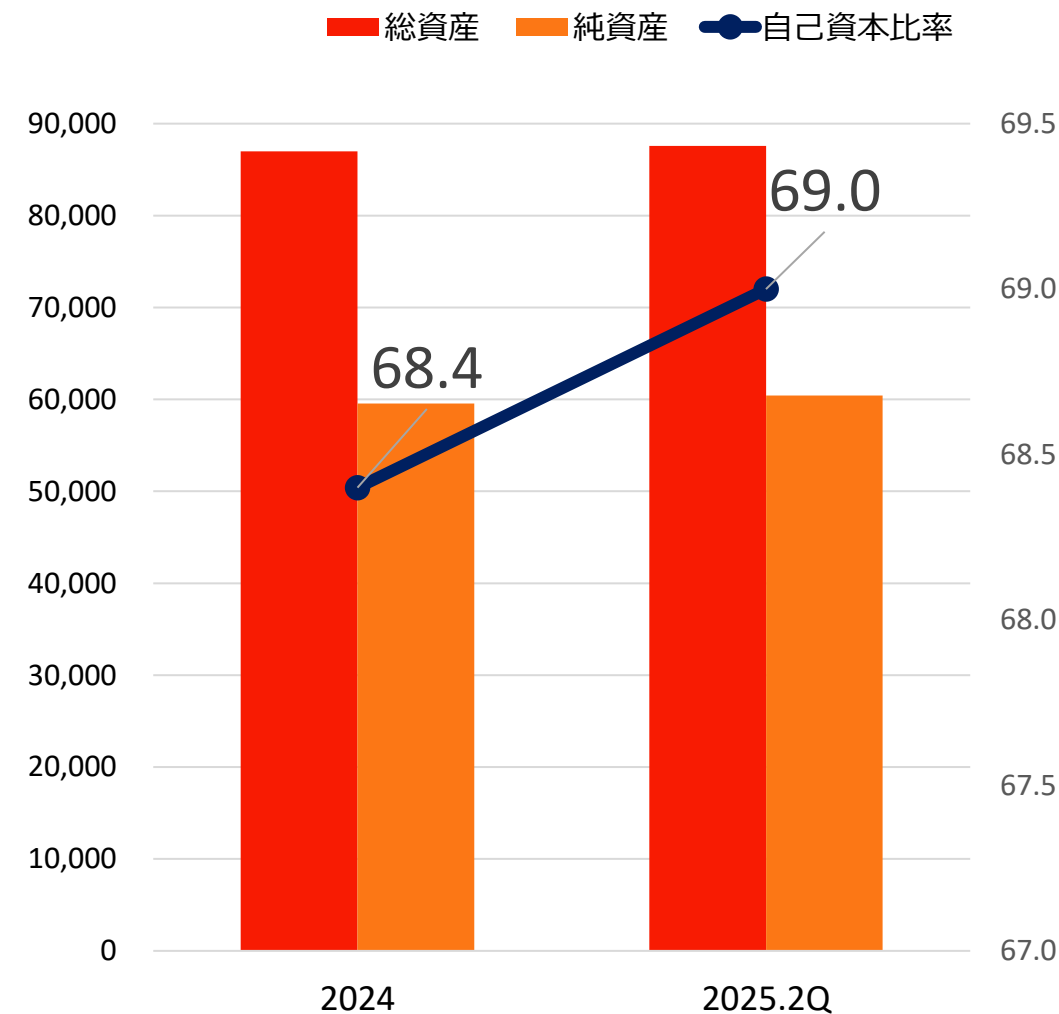
対米ドルで1円の円高が進行すると、売上高には約1.3億円のマイナス

対米ドルで1円の円高が進行すると、営業利益には約5百万円のマイナス

連結財政状態

(単位：百万円)

	2024 期末	2025 2Q期末	増減額
総資産	86,993	87,577	584
負債	27,452	27,148	△303
有利子負債	6,130	6,539	409
純資産	59,541	60,429	887
自己資本比率	68.4%	69.0%	0.6Pt



経営環境（下期）の見通し

建設関連製品事業

国内

- 名目建設投資額は引き続き増加傾向が見込まれる
- 国土強靱化政策に基づく防災・減災対策や、老朽化した社会インフラの維持更新事業により、公共投資は堅調に推移

海外

- 米国において、道路インフラ関連のプロジェクトは継続され、公共工事の需要は引き続き堅調に推移

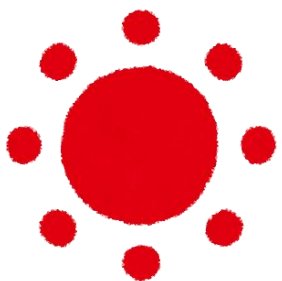
建設関連製品事業

国内

- 労務費の高騰や鋼材価格の高止まりにより、建設コストの高騰が継続
- 人手不足や残業規制により、実質的な工事量はほぼ横ばいに留まる

海外

- 関税による資材コストの高騰やサプライチェーンの不安定化
- 高金利・高価格により住宅市場が低迷



下期のアクションプラン

- 中期経営計画「OX-2026」の最終年度を見据え、全社一丸となって実行フェーズのギアを一段と上げていく
- OX-2026の達成に向けて、重点施策の着実な進捗と基盤構築を図る

建設関連製品事業

国内

- 省力化・工期短縮ニーズを捉えた提案営業の強化
- 現場作業の効率化やインフラメンテナンスに寄与する新製品の開発
- カタログのデジタル化・刷新による効率的な販促活動の実施

海外

- 米国でのメーカー展開による建材製商品のさらなる拡販
- シカゴ倉庫拡張による営業基盤の強化
- インドネシアでの新規顧客の開拓、市場ニーズの取込み

通期連結業績予想

(単位：百万円)

	2024 通期実績	2025 通期予想	増減額	増減率
売上高	67,806	72,500	4,693	6.9%
営業利益	4,194	4,700	505	12.0%
営業利益率	6.2%	6.5%	0.3Pt	-
経常利益	4,422	4,800	377	8.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△874	3,120	3,994	-
ROE	△1.4%	5.2%	6.6Pt	-

通期 セグメント別・製品別 業績予想

(単位：百万円)

		売上高			営業利益		
		2024 通期実績	2025 通期予想	増減率	2024 通期実績	2025 通期予想	増減率
建設関連製品事業	仮設・型枠製品	7,057	7,692	9.0%			
	土木製商品	6,892	7,454	8.2%			
	構造機材製商品	20,207	21,630	7.0%			
	建材商品	11,011	10,877	△1.2%			
	建材製商品（海外）	16,318	17,685	8.4%			
当事業計		61,485	65,338	6.3%	3,448	3,857	11.9%
多角化事業		6,321	7,162	13.3%	746	843	12.9%
合計		67,806	72,500	6.9%	4,194	4,700	12.0%



株主還元

株主還元方針

株主還元方針

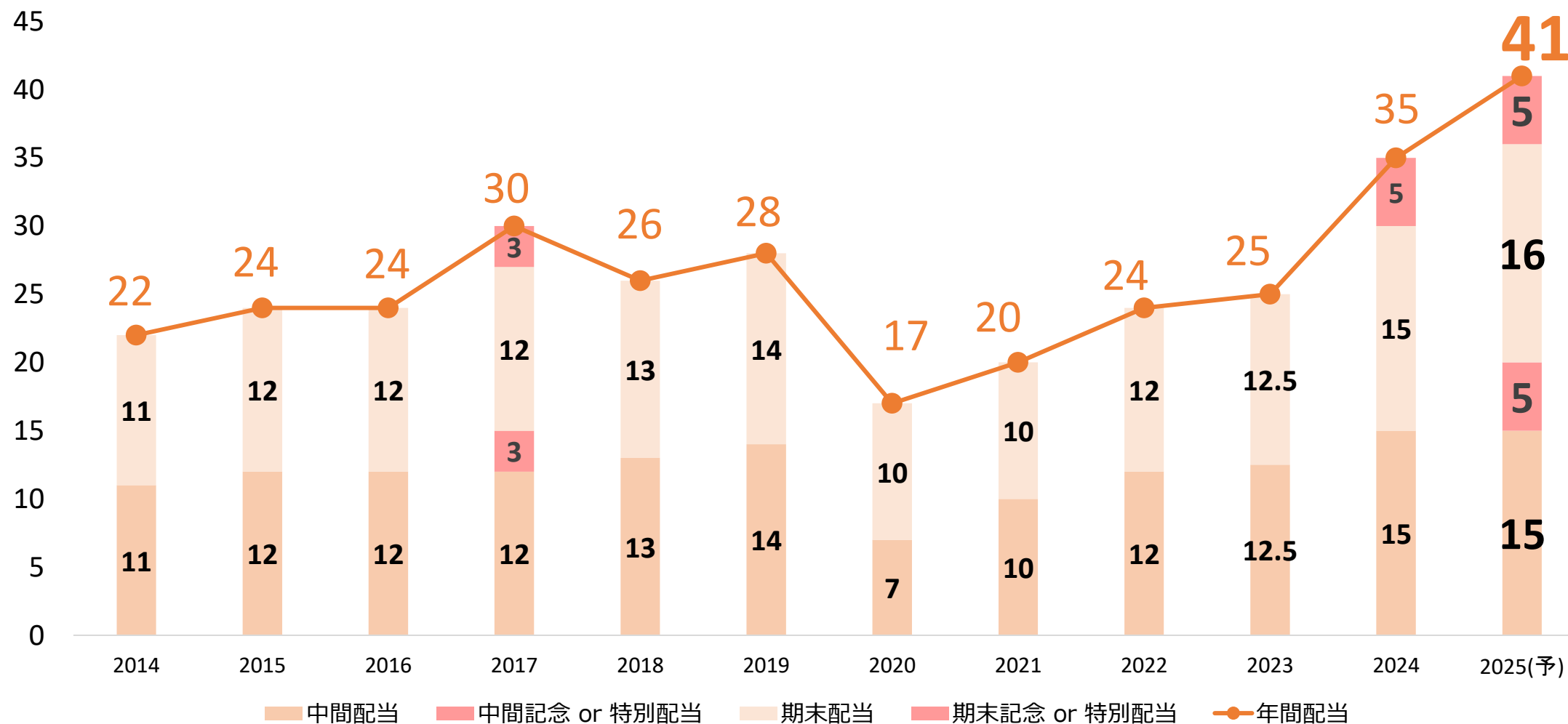
当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題として位置づけております。資本効率の重要性を認識するとともに、財務体質の健全性を維持した上で、業績に応じた利益配分を行うこととし、持続的な成長の実現等により中長期にわたる配当水準の安定的な向上を目指すことを基本方針としております。

毎期の配当額は、**配当性向40%以上を原則**とし、かつ**株主資本配当率(DOE)3%以上を目安**にしております。

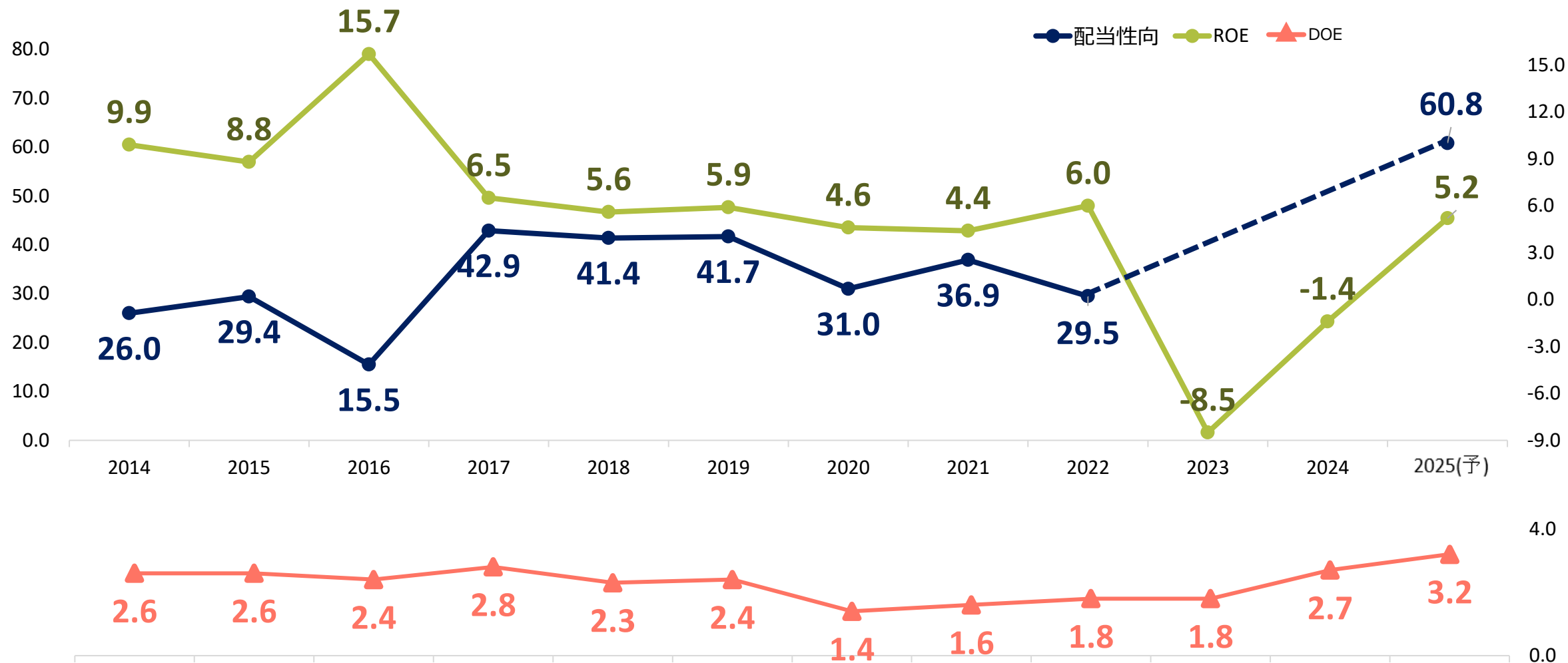
また、株価の水準と機動的な資本政策等遂行の必要性、財務体質への影響等を考慮したうえで、収益力強化と併せた資本構成の最適化によるROEの向上及びPBR 1 倍超の達成を図るため、総合的に判断して、**特別配当の実施及び自己株式の取得を機動的に実行**いたします。
なお、当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年 2 回を基本的な方針としております。

配当単価の推移

(単位：円)



ROE×配当性向=DOEの推移



特別配当の実施・自己株式の取得

特別配当の実施

- ・ 2024年12月期 特別配当： 5円（中間0円、期末5円）
- ・ 2025年12月期（予想） 特別配当： 10円（中間5円、期末5円）

自己株式の取得

- ① 取得株式の種類 ： 当社普通株式
- ② 取得株式の総数 ： 705,300 株
- ③ 取得価額の総額 ： 599百万円
- ④ 取得期間 ： 2025年2月17日～2025年5月1日（約定ベース）
- ⑤ 取得方法 ： 東京証券取引所における市場買付
 （証券会社による投資一任方式）



投資計画

投資計画

設備投資

約 100 億円

- 生産設備の更新
- 脱炭素投資
- DX投資 等

戦略投資

M&A

約 100 億円

- 国内・海外問わず、建設関連製品事業・サステナビリティ経営の推進に資する事業領域を中心にM&Aを実施

人的資本投資

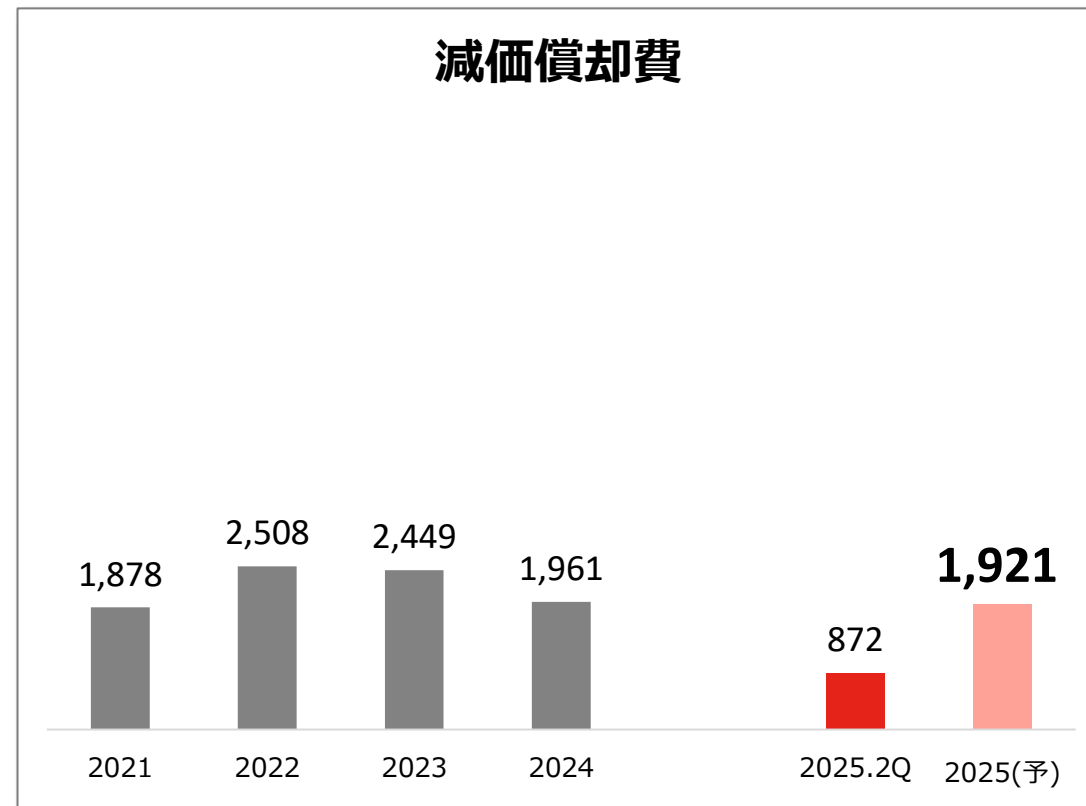
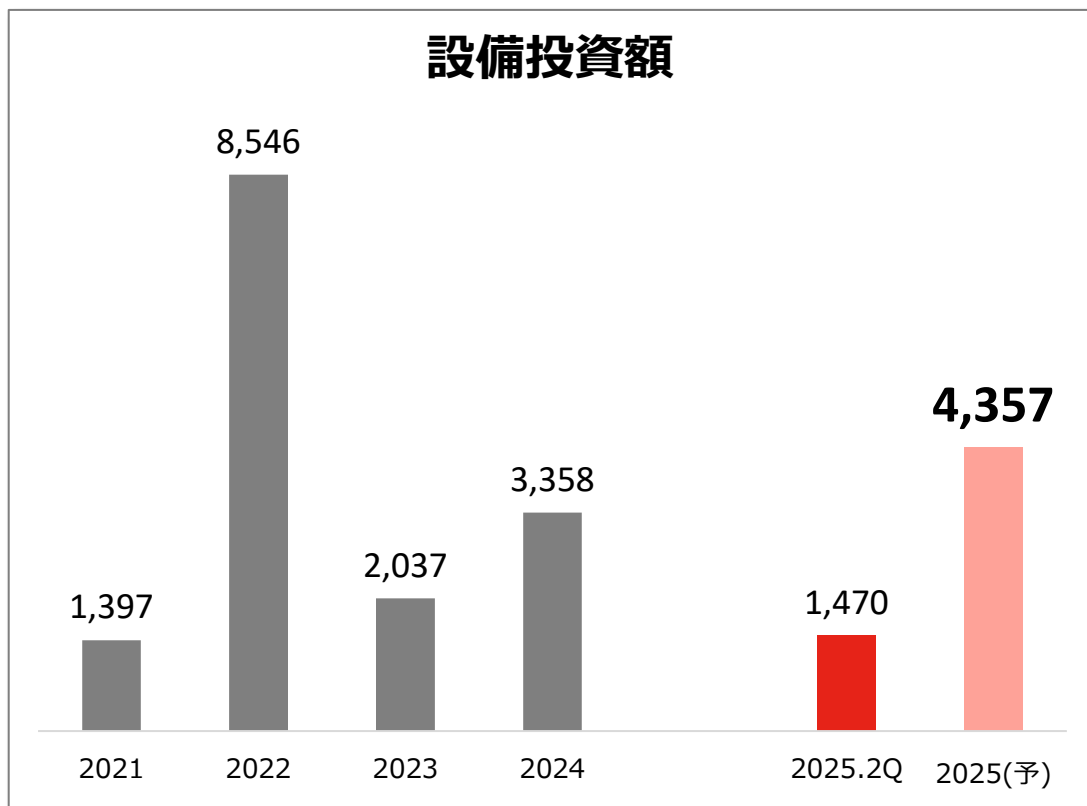
約 10 億円

- 報酬水準の向上 (年間5~7%)
- 研修費用 等

3ヵ年合計投資額 210 億円

設備投資額・減価償却費

(単位：百万円)



※2022年はVimco社（米国）買収による投資を含む

PBR 1 倍超の達成に向けて

資本コスト経営/ 投資家との対話

- ROE8%以上目標
- 事業ポートフォリオ最適化
- 長期戦略の提示とESG関連情報の積極的な開示



成長戦略・投資

- 持続的な成長のための設備投資
- M&A
- 戦略投資
- 人的資本投資

株主還元の充実

- 配当性向40%以上を原則
- DOE3%以上を目安
- 特別配当の実施
- 自己株式の機動的な実行





会社概要

(2024年12月期)

会社概要



商号	岡部株式会社（OKABE CO., LTD.）
創業	1917年（大正6年）4月14日
設立	1944年（昭和19年）2月1日
従業員数	連結941名 / 単体623名
資本金	69億1,170万円
上場市場	東京証券取引所プライム市場（証券コード：5959）
本社	東京都墨田区押上2丁目8番2号
国内主要工場	茨城県下妻市、埼玉県久喜市、京都府久世郡
国内グループ会社 （3社）	建設：株式会社富士ボルト製作所、OMM株式会社 その他（産業機械）：株式会社河原
海外グループ会社 （7社）	建設＜米国＞：OCM, Inc.、OCM Manufacturing LLC、他1社 建設＜インドネシア＞：PT. FUJIBOLT INDONESIA PT. Okabe Hardware Indonesia、他1社 その他（自動車）＜米国＞：OKABE CO., INC.

岡部の歩み

創業
100周年

1917 岡部蜜之助により創業



1977

自動車関連事業

2002

海外建材事業

2008

魚礁事業

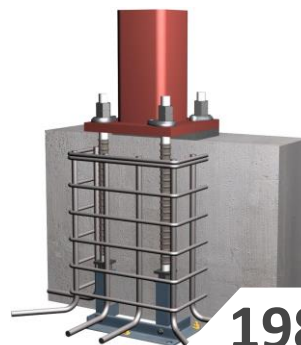
2019

産業機械製品



1975

フリーフレーム工法開発



1986

ベースパック柱脚工法開発



2007

OSリング発売



2025

型枠一本締め工法発売

1951 フォームタイ工法開発

1917 創業

1972 東証2部上場

1991 東証1部上場

2022 東証プライム



1968

京都工場



1975

久喜工場



2015

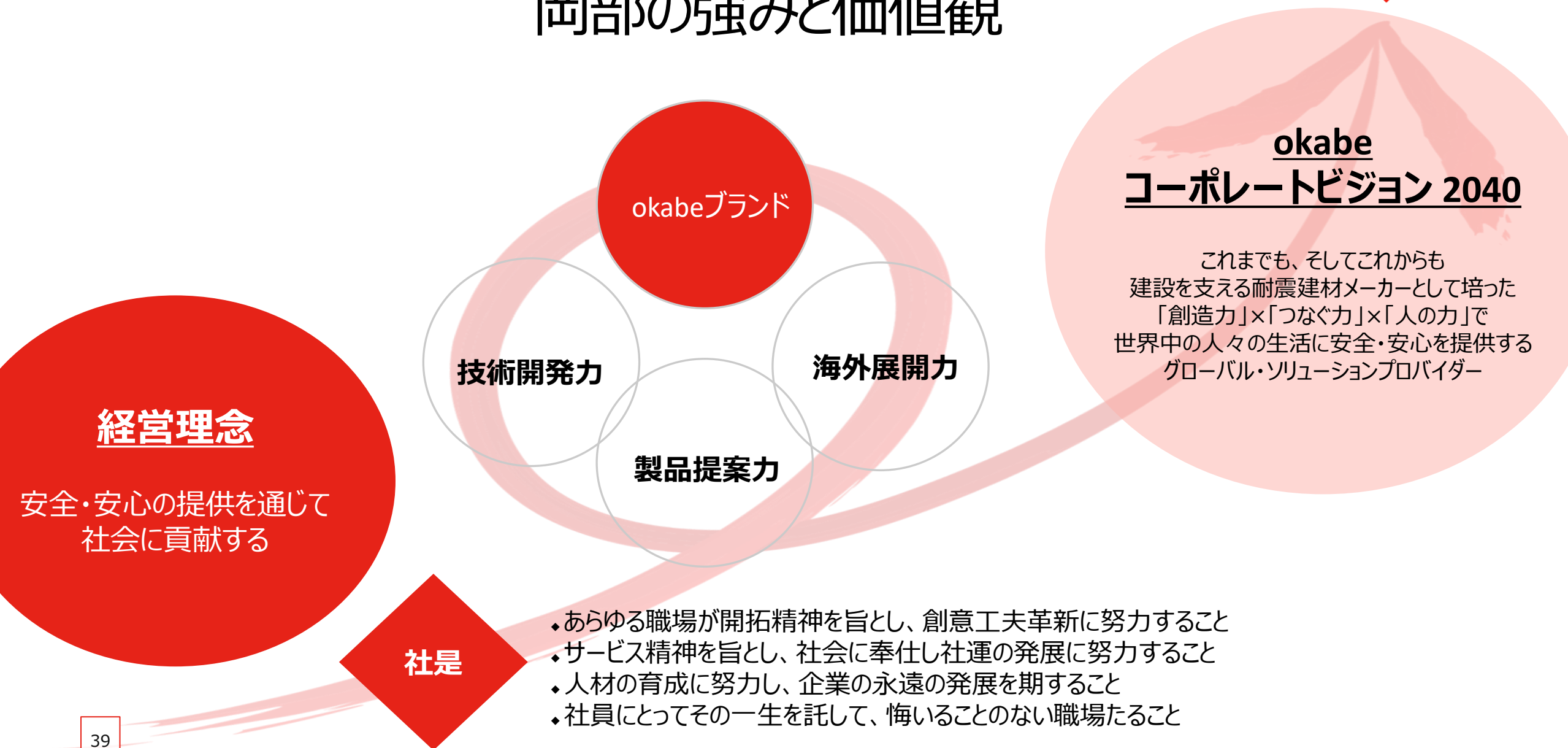
茨城工場



2018

総合実験センター開設

岡部の強みと価値観

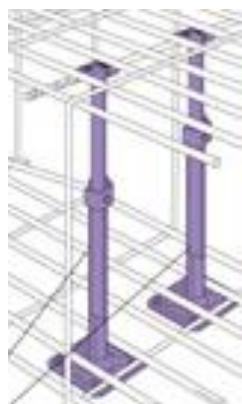


主要製品

10.4 仮設・型枠製品



丸セパ・フォームタイ・Pコン



ベースマン



ネクスタイ

目地
断熱材など
仮設材全般

16.2

建材商品

他社から仕入れた
建材商品全般（国内）

10.2

土木製商品



ロックボルト



フリーフレーム工法



ベルキャップ

24.1

建材製商品（海外）



スパーサー

バーサポート

ブラケット

29.8

構造機材製商品



ベースパック
(BP)



セレクトベース
(SB)



OSリング



クラウンパイルアンカー



オカベスタッドS

9.3

多角化事業



リフトテーブル



魚礁・藻場礁・増殖礁

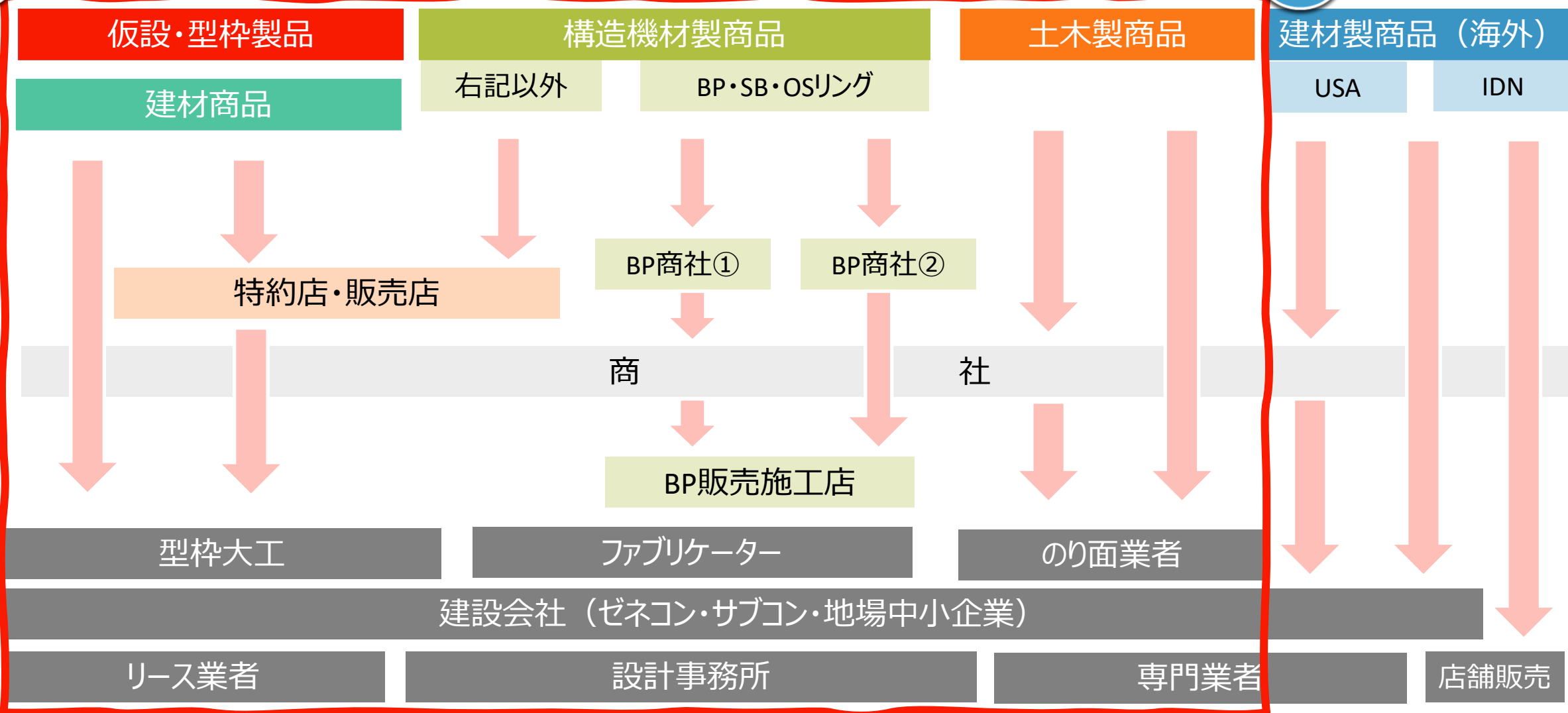


トラック用
ツーピースナット

66.6 国内建設

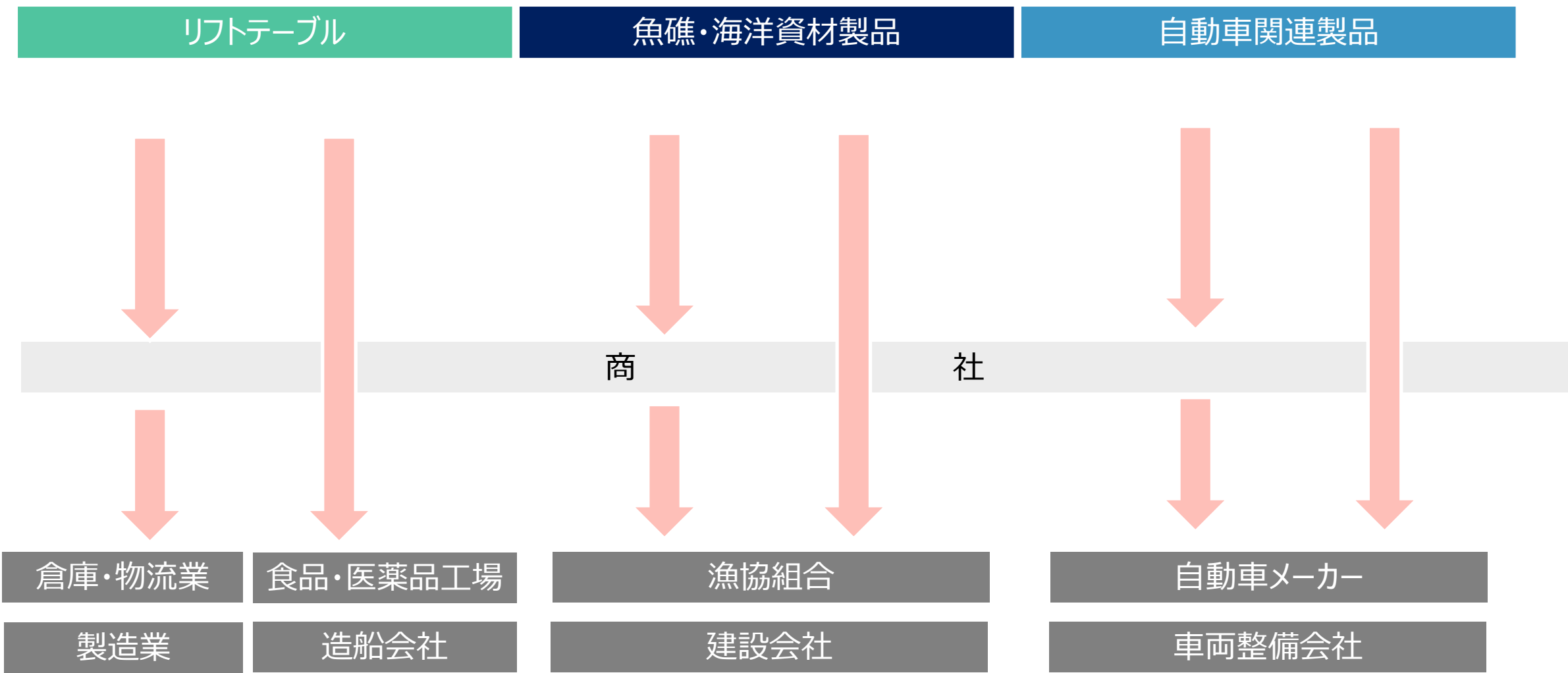
商流（建設関連製品事業）

24.1

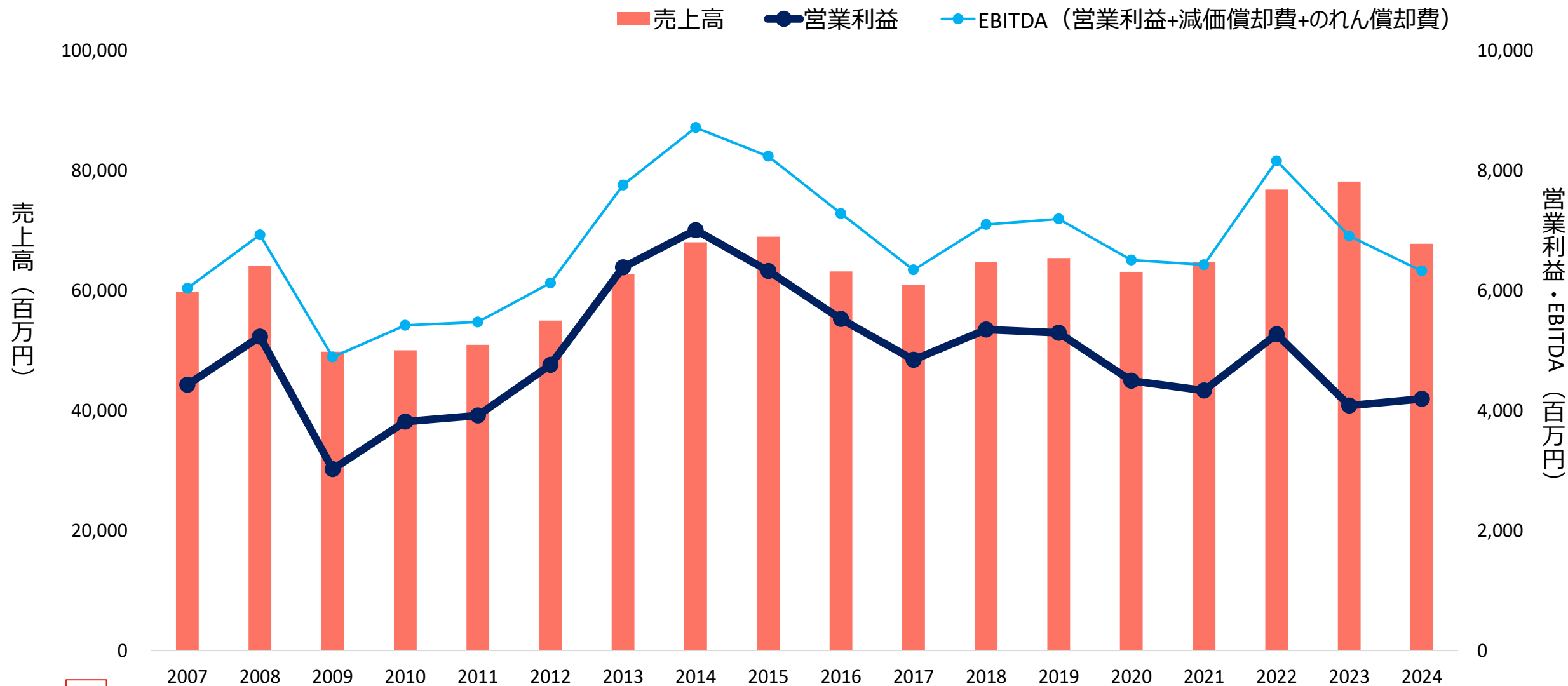


商流（多角化事業）

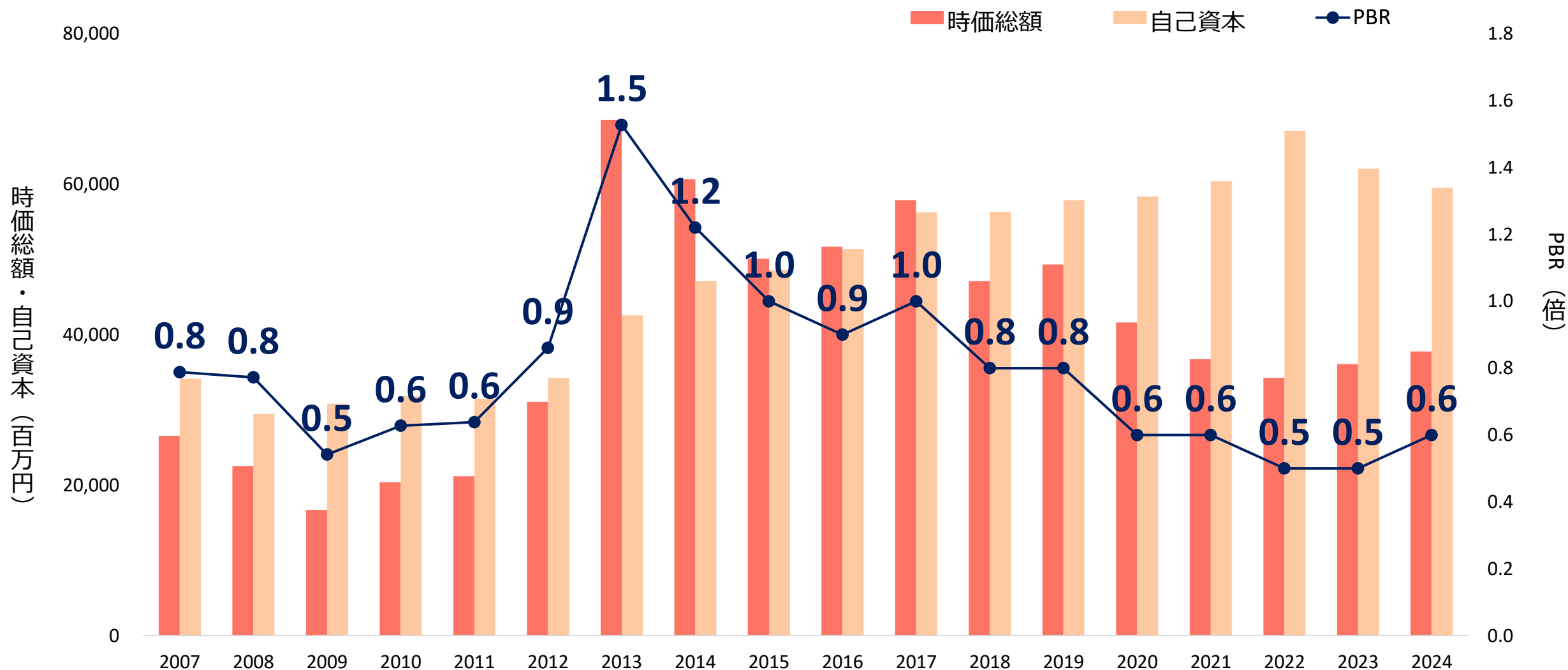
9.3



売上高・営業利益・EBITDA推移



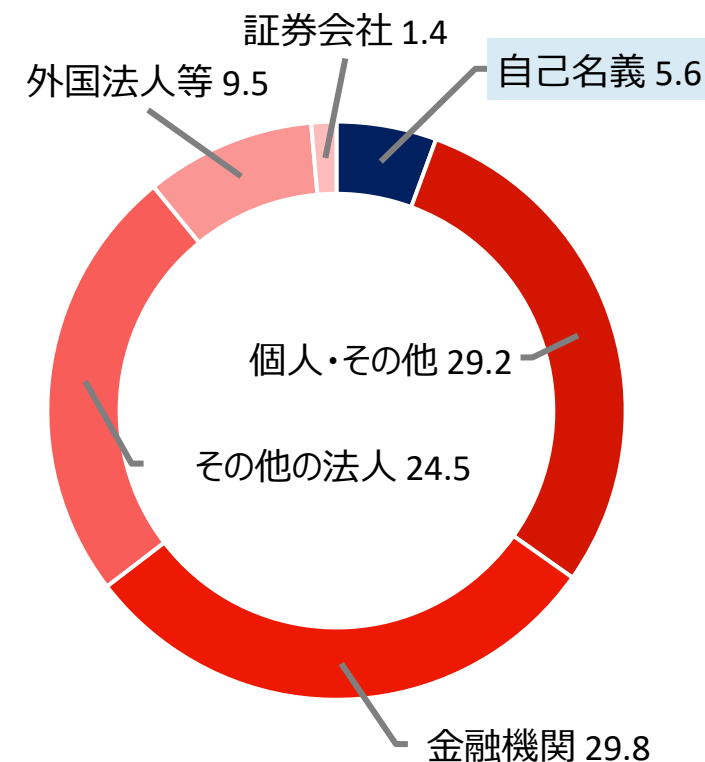
PBR・時価総額・自己資本推移



株式情報

大株主（上位10名）	持株数(千株)	比率(%)
トルク株式会社	5,386	11.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,612	9.91
株式会社みずほ銀行 （常任代理人 株式会社日本カストディ銀行）	2,311	4.96
株式会社三菱UFJ銀行	2,165	4.65
日本生命保険相互会社 （常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社）	1,388	2.98
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	1,332	2.86
岡部 和子	1,004	2.15
第一生命保険株式会社 （常任代理人 株式会社日本カストディ銀行）	870	1.87
岡部協力会社持株会	704	1.51
岡部特約店持株会	678	1.45

所有者別株式数分布状況



10年間の株価・出来高推移

8月 20, 2025 09:37 UTC+9、TradingView.comで作成

岡部・1日・TSE 961 -1 (-0.10%)
出来高 4.1K



株価

出来高

